

明日から職場で実践できる

# 新しい転倒事故防止対策

－職員の負担を増やさず転倒事故が減る

## 施設に居ながら全職員が学べる動画セミナー

今すぐ抜粋版を試聴しよう！（抜粋版11分・本編37分）

●PC版 → <https://youtu.be/7zMIgdLV8yc>

●スマホ版 →



### 動画セミナー提供方法

- 提供対象：介護事業者団体・介護事業法人など
- 視聴期間：1ヶ月間～3ヶ月間
- 提供資料：セミナーテキスト
- 視聴開始：任意の期日を設定できます
- 提供価格：介護事業者団体50,000円＋消費税  
介護事業法人40,000円＋消費税

### 動画セミナー視聴までの流れ

- ①申込書を弊社宛メールで送付  
申込書は弊社ホームページで：[www.anzen-kaigo.com](http://www.anzen-kaigo.com)
- ②弊社より主催者にセミナー視聴ツールを送付  
URL・QRコード・パスワード・セミナーテキスト・付属資料
- ③視聴者にURL・QRコード・パスワードを案内
- ④参加者はパソコンやスマホでセミナーを視聴

## 「新しい転倒事故防止対策」の概要

### 《1》転倒事故防止対策の問題点

- ・新しい転倒防止対策の考え方
- ・防げない転倒事故への対応

### 《2》転倒事故の原因分析

- ・転倒の原因は3つの視点で分析する
- ・利用者側の原因
- ・介護職側の原因
- ・設備や用具の原因

### 《3》転倒事故の防止対策

- ・転倒リスクの把握（アセスメント）
- ・転倒防止対策の新しい考え方
- ・転倒の原因となる服薬を見直す取組
- ・居室の転倒事故は骨折防止対策
- ・年に1回「危険箇所総点検活動」

### ■主催者に提供する付属資料「現場作成ツール」

- ①転倒要因チェックシート
- ②転倒リスクアセスメントシート
- ③服薬チェックお勧めチラシ
- ④危険箇所点検記入表
- ⑤危険箇所改善管理表
- ⑥リスク説明書チラシ
- ⑦センサーマットに関する家族向けチラシ
- ⑧転倒事故の過失判断資料
- ⑨転倒防止実証実験レポート抜粋

#### ●転倒防止実証実験の結果は？

##### 1. 歩行介助中の転倒事故【職員が付き添い歩行中に突然起こる転倒を防げるか？】

転倒の仕方	転倒防止回数
患側へのふらつき	9回 / 10回 (90%)
つまづき	2回 / 10回 (20%)
膝折れ	0回 / 10回 (0%)
合計	11回 / 30回 (36.6%)



“膝折れ”の転倒では防止可能性がゼロ

##### 2. 見守り中の転倒事故【近くで見守っている時に突然立ち上がり転倒するのを防げるか？】

見守りの方法	転倒防止回数
じっと見守っている	3回 / 10回 (30%)
足たり見ながら	3回 / 10回 (30%)
作業をしながら	1回 / 10回 (10%)
合計	7回 / 30回 (23.3%)



“すぐ転ぶ”と転倒は全く防げない

職員の手で転倒はほとんど防げない

動画セミナーに関するお問い合わせは

株式会社安全な介護 受付担当 澤田

mail:soudan@nanasha.co.jp TEL:03-5995-2275